



かけ はし
懸 橋



県内外から約400名が参加した「第24回おいらせ町いちょうマラソン大会」

もくじ

- ◆第2回定例会・第1回臨時会 2～5ページ
- ◆一般質問（1人） 6ページ
- ◆産業民生常任委員会調査活動報告 7ページ
- ◆どうなったあの質問 8ページ

国民健康保険税改正条例を可決

安定した医療サービスを持続するため

平成21年度分から国民健康保険税の税率を約10%引き上げ



議事の進行を努める西館秀雄議長



提案理由を説明する三村町長

平成二十一年第二回定例会は、六月五日から八日までの四日間の会期で開かれ、教育委員会委員の同意、条例の一部改正、消防ポンプ自動車購入契約の締結、小中学校楽器購入契約の締結、史跡阿光坊古墳群保存整備事業用地の取得、平成二十一年度一般会計及び特別会計の補正予算など、報告一件、議案十一件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。一般質問には、一人の議員が登壇し、町当局の所見を求めました。

主な議案の内容

◆おいらせ町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

前任者の任期満了と辞任に伴い二名を教育委員に任命するもの。

渡部タイ子氏（七軒町）



武田 昭子氏（緑ヶ丘）



◆おいらせ町税条例等の一部改正

個人住民税の住宅ローン特別控除や土地等の長期譲渡所

得に係る特別控除の創設等。

◆おいらせ町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

特別措置の適用期限を平成二十三年三月三十一日まで、二ヶ年延長するもの。

◆おいらせ町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の所得割額、資産割額、被保険者均等割額及び世帯別平等割額に係る税率を10%増に改定するとともに、二割減額の対象となる納税義務者の要件の見直しによる軽減措置を定めるもの。

◆消防ポンプ自動車（百石消防団第七分団）購入契約の締結

百石深沢分団の消防ポンプ自動車を更新することにより、消防活動の充実強化を図るもの。

- ・契約の方法
指名競争入札
- ・契約金額
二千八百八十四万円
- ・契約の相手方
株式会社 八戸鉄工所

◆小中学校楽器購入契約の締結

吹奏楽部のある木ノ下小学校及び町内の中学校三校に、クラリネットなど五十四台の楽器を配置し、吹奏楽部の活動や児童生徒の情操教育の充実を図るもの。

- ・契約の方法
指名競争入札
- ・契約金額
九百八万五千九百六十五円
- ・契約の相手方
有限会社 名曲堂

◆史跡阿光坊古墳群保存整備事業用地の取得

平成二十年度からの三ヶ年計画で進めており、昨年度に引き続き、二年目の用地取得。

- ・総取得面積
二万八千三百三十五㎡
- ・取得予定価格
二千八百三十三万五千円

諸般の報告

出されていた陳情書「りんごの価格安定対策を求める陳情書」、 「ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する陳情」、 「協同労働の協同組合法の速やかなる制定を求める意見書の提出を求める陳情書」及び「おいらせ町の非核平和自治体宣言を求める陳情書」の四件は、議員に資料配付となりました。

議員派遣

青森市で、七月開催される青森県下・町村議会議員研修会には、議会議員として必要な知識の習得と資質向上のため、全議員を派遣することにしました。

21年度補正予算の概要 (21年6月補正)

一般会計の補正額は、4億453万8千円の増額で、総額を98億6,061万8千円とした。特別会計の合計補正額は、169万5千円の増額。

(単位：千円)

会計	補正前	補正額	補正後	補正の主なもの
一 般	9,456,080	404,538	9,860,618	デジタルテレビアンテナ設置等工事費 7,828 デジタルテレビ購入費 12,944 機械器具費 (ハイブリット車) 12,000 新エネルギービジョン策定業務委託料 5,246 一般コミュニティ助成事業費補助金 8,400 コミュニティセンター助成事業費補助金 12,500 子育て応援特別手当給付費 28,080 固定遊具購入費 6,700 エゴマ搾油施設等整備事業費補助金 10,000 町商工会プレミアム共通商品券発行補助金 21,000 イベント等備品購入費 21,000 町道整備工事費 91,000 校務用パソコン等購入費 (小学校費) 17,576 教育用パソコン等購入費 (小学校費) 19,802 デジタルテレビ購入費 (小学校費) 10,398 校務用パソコン等購入費 (中学校費) 11,871 教育用パソコン等購入費 (中学校費) 29,702 デジタルテレビ購入費 (中学校費) 6,239 スポーツ車購入費 6,700
介護保険	1,592,398	1,635	1,594,033	消耗品費 499
後期高齢	135,573	60	135,633	庁用器具費 58

新しい委員会の構成

このたび、二つの常任委員会と議会運営委員会の委員が、任期満了により新しく選任されました。

各常任委員会では、議会から付託された議案や請願の審査を行うほか、所管している事項について、調査活動を実施します。

総務文教常任委員会

総務、企画、財政、税務、出納、監査、選挙、教育文化に関する事項並びに他の常任委員会に属しない事項を所管する。

委員長 沼端 務
副委員長 川口 弘治
委員 佐々木 光雄
委員 西舘 秀雄
委員 種市 恭子
委員 立花 國雄
委員 澤頭 好孝
委員 馬場 正治

産業民生常任委員会

農林、水産、畜産、商工観光、土木、建築、都市計画、上下水道、民生、保健、福祉、環境、病院事業に関する事項を所管する。

委員長 西館 芳隆
副委員長 成田 義光
委員 松林 義信
委員 柏崎 利彦
委員 袴田 邦彦
委員 馬場 福志
委員 吉村 敏文
委員 吉田 絹恵

議会運営委員会

委員長 佐々木 光雄
副委員長 袴田 邦彦
委員 西舘 秀雄
委員 吉村 敏文
委員 沼端 務
委員 川口 弘治

平成21年 第1回臨時会（5月26日）

町議会議員、特別職及び教育長並びに一般職職員の6月の手当引下げ

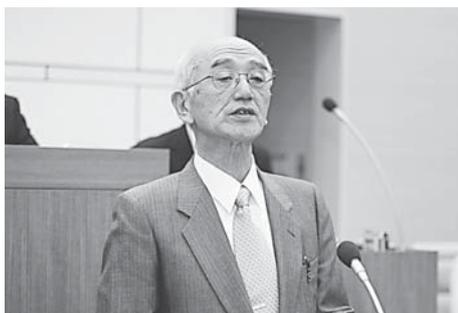
平成二十一年第一回臨時会が五月二十六日に開かれ、報告八件、議案四件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

主な議案の内容

- ◆おいらせ町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◆おいらせ町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正
- ◆おいらせ町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正
- ◆おいらせ町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

四議案については、人事院勧告及び県人事委員会からの職員給与に関する報告及び勧告において、本年六月に支給される手当に関し、支給割合の引下げが勧告されたことを受けて、国家公務員及び県職員に準じて給与改定を行うもの。

主な内容は、町議会議員、特別職及び教育長の期末手当並びに一般職職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合について、期末手当で〇・一五、勤勉手当で〇・〇五を引下げするもの。



就任の挨拶をする加藤正志教育委員長

20年度補正予算の概要（21年3月専決処分補正）

一般会計の補正額は、5,338万1千円の減額で、総額を98億919万5千円とした。

特別会計等（10会計）の合計補正額は、2,794万2千円の減額で、総額を72億5,383万3千円とした。

（単位：千円）

会 計	補正前	補正額	補正後	補正の主なもの	
一 般	9,862,576	▲53,381	9,809,195	国民健康保険特別会計繰出金	76,671
				重度心身障害者医療給付費	▲10,139
				保育所運営費	▲18,090
				除雪作業委託料	▲11,800
国 保	2,660,130	▲18,758	2,641,372	国保診療報酬給付費（退職被保険者等）	▲4,188
老人保健	198,267	▲4,695	193,572	医療費支給費	▲4,242
奨学資金	19,315	102	19,417	奨学基金積立金	102
公共下水	1,327,750	0	1,327,750		
集落排水	105,782	0	105,782		
介護保険	1,649,390	900	1,650,290	居宅介護サービス等給付費	5,000
霊園事業	13,949	▲400	13,549	還付金	▲400
公共用地	47,778	0	47,778		
後期高齢	130,191	▲5,091	125,100	後期高齢者医療広域連合納付金	▲5,091
病院事業	1,129,223	0	1,129,223		
総 計	17,144,351	▲81,323	17,063,028		



生活関連道を現地調査する委員一行



所管する事項を審査する産業民生常任委員会

平成二十一年六月二十三日、産業民生常任委員会（西館芳信委員長）を開催し、平成二十一年度に予定されている町内の生活関連道路整備計画について調査を行いました。

町地域整備課の立ち会いのもと、六月定例議会の補正予

算約一億円で計画している十路線の生活道路について説明を受け、現地調査を行いました。

担当課からは「公共施設周辺と雨水排水対策」が基本であるとの説明がありました。

委員会としては、全路線について、早急に実施するよう要望しました。

町生活関連道の現地調査を実施

産業民生常任委員会

一般質問



西館 芳信 議員

特別養護老人ホームへの 入所待機者の 実態について

質問 常時、介護を必要とするものの、自宅でこれを受けることができず、特養ホームへの入所を希望する待機者が、我が町で百四十人以上いると聞いている。この実態と町の関わりについて問う。

① 我が町の「待機者」の現状は？

ア 町の高齢者はどんな比率で何人いるのか。

イ そして、この中の何人が要介護認定を申請し、認定の結果はどうか、介護保険受給者は若年障がい者を含めると何人になるのか。

ウ 次に、この中で何人が特養ホームに入所でき、希望が叶わぬ待機者は何人か。

また、待機者の現状での平均的待機日数はどれ位か。

エ 加えて、これらの人々を入所させる町内施設の定員はいくらで、入所の緊急性、必要性を判断する基準はどうなっているのか。

さらに、最終的に入所を決定する人は誰なのか？

定員については療養型病床にも触れて回答願いたい。

又、認定の度合いによるサービス可能内容、入所費用などの現状もお答え願いたい。

答弁 町の人口は本年三月末で約二万五千人であり、

六十五歳以上の人口は約四千九百人で、総人口に占める割合は十九・七%となっている。

次に、介護認定の申請数は平成二十年度で八百九十五件、判定結果は要介護五が百二十六件、要介護四が百一件、要介護三が百五十二件、要介護二が百五十二件、要介護一が百九十四件などで、現在、介護保険受給者はいわゆる、高齢者で八百七十七人、障がい者で四十二人となっている。

また、待機者の平均的待機日数であるが、必要性の高い

人が優先されるので、申し込み後、数ヶ月から数年までかかる人もいる。

そうした中で、本年三月の調査では在宅の待機者は八十九人となっている。

それから、町内の関連施設は四事業所、合計二百人の定員で、入所については県の指針を踏まえ、事業所ごと、施設長や生活相談員、介護職員などで構成する入所検討委員会が決定する。

また、利用料金は月額が目安で十万円程度、減免措置が適用されれば三万円程度にな



65歳以上人口約4,900人
(これはイメージ写真です。)

っており、町が負担する介護給付費は、一人当たり月額二十三万円程度となっている。

質問

② この問題に対する町の関わりについて

ア 現在、入所手続は、入所者自身と施設側の問題として、町は関与してないと聞かすが、公平性、透明性確保のために、積極的に関与していくべきと考えるが？

イ 待機者の現状を考え、おいらせ病院はしかるべき場所に新築移転し、現在の病棟は特養ホームなどへの転換を図る構想もあつていいと思うが？

答弁

入所の決定に際しては県の指針に基づき、各施設が合議制の検討委員会等で処理しており、公平性、透明性は確保されていると考える。

また、おいらせ病院の新築移転は、地域医療を取り巻く現状を総合的に判断した場合、厳しい状況と認識している。

産業民生常任委員会調査活動報告

町の一層の産業振興に鑑み、平成二十一年七月七日から十日まで実施した調査活動の概要を報告します。

「農」のあるまちづくりの 取組み現状調査 (埼玉県宮代町)

東京都から北へ四十km、人口約三万四千人の「農」のあるまちづくりは、平成十四年に職員の発案で始めたもので、行政面積が十六平方km弱、農家人口六%の町が周辺を含めての都市化を逆手に取り、農業ではなく、農のあるまちづくりを旗印として、各界各層の人々が知恵を絞ったもの。その拠点が「新しい村・集いの館」であり、十三ヘクタールの土地に十四億円を投入したが、九億円は国、県の補助。

農産物直売所「結 ゆい」では、町内外からの生産物を加工処理、販売しているし、加えて、市民農園を開放し、コンクリート護岸を壊し、土



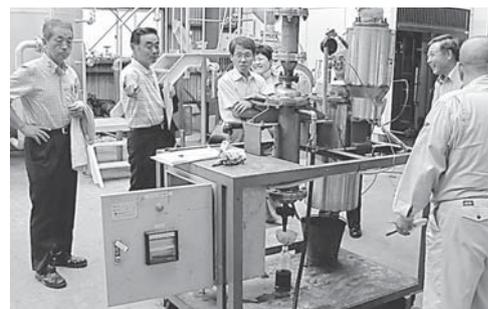
新しい村にて

水路にした場所や、草ぼうぼうにし、淡水魚などの繁殖を狙った「ほつつけ田」などの施策が奏功し、畑のオーナー、憩いを求める散策者、観光客としての町内外からのリピーターが相当数となり、参加町民の収入も増加している。

農水産業廃棄物リサイクル 機器当町導入の可能性 (愛知県一宮市)

(株)仲光テクノ

農業用ビニールや廃プラなどの油化装置を手がけており、



油化装置の説明を受ける委員一行

繊維工場だったものを、加圧加温の技術を活かし、当事業に転換したもの。

製品の特長は泥などの汚物のままでの分離が可能などころにあり、農水産業廃棄物処理にはメリットが大で、これまで四基、合計三億五千万円を売り上げた。

価格は用途と規模に応じ、数百万円から数億円まで多様なイオキシンのでる塩化ビニールも可能で、再生油は燃料になるから、農業には最適。

百石漁港に照らした最新の 荷捌き施設とこれに一体化 した水産物流通の調査 (愛知県一色町)

平成十七年四月に、周辺六漁協が合併、西三河漁協となり、荷捌き施設が誕生。

組合員三百九十一名、操業船数七十三隻、漁獲高十一億強(二千三百トン)を擁する荷捌き施設は事業費が約八億七千万円、鉄骨造り、五千㎡の広さ。

その特長は高度衛生管理で、鮮度保持のための陳列方式、入札、清浄水洗浄、庇は光と雨から水産物を守るために長さ10mになっている点。

また、隣接する「一色さかな広場」(三千㎡)は、週末には観光用バス三十台、乗用車二百台が収容できる駐車場が満杯になり、収入は年間、十一億円前後で推移。



荷捌き施設にて

宮代町の「農」のある取組みは生業としての「農業」に市民参加型、環境保全型などの要素を取り入れたもので、施設全体の機能性も完璧に思えたが、関東近県一千万人の集客ゾーンがあつて成り立つもので、我が町には馴染まないものではなかるうか。

(株)仲光テクノのリサイクル処理機は、いずれ、各自治体産業団体などが導入を義務化される種のものと思えた。

我が町の牧歌的景観保持のためにも、町、各産業団体などが共同でこの種の機器を導入するのも良いと感じたし、一般質問で町長にぶつけてみようという委員もいた。

一色町の荷捌き施設などは、百石漁港にも、同様の施設をとは思ったが、現実の出船数、漁獲高、内海と外海の違いなどがあり、この規模での附帯は難しいと感じた。

委員長 西館 芳信 記

感想(考察)

? どうなった? あの質問 ?

質問

スポーツ振興のためにも、旧下田町で平成17年度まで17回実施していた町民ふれあい駅伝大会を復活させる考えはないのか。

答弁

現在協議中で、町内会の意向を把握すべく進めており、早い段階で結論を出したいと考えております。

経過

平成20年11月3日、「2008おいらせ町駅伝大会」が、町内から10チーム参加し、開催されました。



今年開催されたおいらせ町民駅伝大会

これまで定例会で行われている一般質問の中から、その後どうなったか追跡調査してみました。今回は平成十九年六月議会で議員が質問した町民ふれあい駅伝大会の復活について経過を調査しました。

編集後記

六月初夏の頃を迎え、田畑、森に濃い緑が広がるのどかな風景が目に入ってきた「おいらせ町」です。このまま天候にも恵まれ、収穫の秋には大豊作になればと思っている一人です。

日々の生活においては、昨年から百年に一度の「大不況」と言われております。私達の生活も影響を受け、町民の方々にも厳しい時を過ごしていると思います。

我々町議会も一日でも早くこの厳しさが収まれば、との思いで真実に議論し町民の皆さんが安心して生活できる「おいらせ町」作りのためがんばっていますので、皆さんの協力よろしくお願い致します。

議会広報編集委員 吉村 敏文 記



苗も育ち緑一色の田園